

県南家畜衛生情報



今号の主な内容

- 韓国での口蹄疫の発生について
- 新型インフルエンザから豚を守りましょう！
- 高病原性鳥インフルエンザの侵入防止対策の継続を！
- 平成21年度岩手県獣医畜産業績発表会
- 家畜防疫互助事業に参加しましょう！
- 家畜防疫互助事業について

2010

第41号

平成22年2月1日

韓国での口蹄疫の発生について

平成22年1月2日、韓国京畿道抱川市の乳用牛飼養農場（185頭飼育）で口蹄疫が発生し、その後、あわせて5農場（すべて牛飼養農場）での発生が確認されました。

- 1 発生場所および農場（平成22年1月21日現在）
京畿道抱川市 4農場（初発農場と、その半径3.5Km以内の3農場）
京畿道漣川市 1農場（初発農場から9.3Km）
※京畿道抱川市：ソウル市から北北東30Km
- 2 韓国における防疫措置
発生農場の家畜および発生農場から半径500m以内のすべての偶蹄類の動物のとう汰
発生施設・農場の消毒
移動制限区域内での、家畜の移動禁止、家畜市場の閉鎖、農場や車両の消毒など
- 3 わが国の対応
偶蹄類の動物、その肉などの輸入停止措置
韓国からの旅客に対する靴底消毒などの検疫措置の徹底
船舶・航空機内で発生した厨芥残さの適正処理の徹底

飼養する牛・豚の健康状態を確認し、異常（発熱、大量の流涎、口・蹄・乳房などに水泡を形成、以上の症状が複数の家畜で見られる）が認められた場合には速やかに家畜保健衛生所に連絡するとともに、次の対策の徹底をお願いします。

- 1 韓国の畜産農家への訪問の自粛
- 2 飼養衛生管理基準の遵守
- 3 関係者以外の農場への立入制限

新型インフルエンザから豚を守りましょう！

冬を迎え、岩手県でも人での新型インフルエンザの流行が認められています。

また、1月には、山形県の養豚場で飼養される豚に、国内2例目の新型インフルエンザ（H1N1亜型）感染が確認され、人から豚への感染が疑われています。

養豚関係者の皆さんは、養豚場への新型インフルエンザの侵入を防止するため、引き続き次の事項の徹底をお願いします。

- 1 インフルエンザ様症状を示す関係者の農場立入禁止
- 2 飼養管理者は、マスク・専用の作業靴・作業着を着用して豚舎に入場する
- 3 農場へ出入りする人や車両の記録
- 4 飼養衛生管理基準の遵守



高病原性鳥インフルエンザの侵入防止対策の継続を！

国内では、昨年、愛知県のうすらでの発生以降、本病の発生は確認されていませんが、韓国、台湾を始めとする海外では、弱毒タイプ等の鳥インフルエンザの発生が確認されています。

「飼養衛生管理基準」を引き続き遵守するとともに、鶏舎周辺の消石灰散布、作業靴・作業衣の交換、農場への出入り車両の消毒等、本病の侵入防止対策の徹底を継続しましょう。

鳥インフルエンザを疑う症状が見られた場合には、直ちに家畜保健衛生所へご連絡ください。

平成21年度岩手県獣医畜産業績発表会 ～当地域の取り組み演題が受賞！～

1月20日、21日の両日、盛岡市において、岩手県獣医畜産業績発表会が開催されました。

当所からは4名が発表し、岩手県知事賞を千葉由純獣医師、岩手県獣医師会長賞を長谷川和弘主任獣医師がそれぞれ受賞しました。

演題、発表者は以下のとおりです。

演 題	発表者
地域が一丸となって取り組んだ馬パラチフス防疫対策	長谷川 和弘
養豚場密集地域における豚オーエスキー病清浄化の取り組み	千葉 由純
ELISA 及びリアルタイムPCRの牛白血病対策への導入の検討	本波 美香
自作カーフハッチを利用した子牛の損耗防止対策	宮崎 大



左より、千葉獣医師、
菊池所長、長谷川主任
獣医師

家畜防疫互助事業に参加しましょう！

本事業は、海外悪性伝染病が万一発生した際の、畜産経営への影響を緩和するため、生産者自らが積立を行い、発生時の損害を互助補償する仕組みに国が支援を行う事業です。

発生時の農場の損失を最小限に留め、防疫対策を迅速に進めるため、生産者の皆様の加入をお願いします。

家畜防疫互助事業について

牛、豚では…

対象伝染病は「口蹄疫」、「豚コレラ」など

【交付される互助金の内容】

- ① 発生農場の周辺にある農場が行う家畜の自主とう汰にかかる費用
- ② 発生農場及び周辺農場での死体処理費用

【生産者積立金の単価】

牛：20～40円／1頭、豚：25～180円／1頭

※ 詳細は、岩手県南家畜衛生推進協議会へお問い合わせください。

鶏では…

対象伝染病は「高病原性鳥インフルエンザ」

【交付される互助金の内容】

- ① 法に基づき鶏を殺処分又は自主とう汰した農場の新たな鶏の導入費用
- ② 鶏の殺処分又は自主とう汰した焼却・埋却費用

【生産者積立金の単価】

鶏：0.2～5円／1羽

※ 詳細は、岩手県養鶏協会（電話番号 019-654-7050）へお問い合わせください。

編集・発行

〒023-0003 岩手県奥州市水沢区佐倉河字東館 41-1

岩手県南家畜保健衛生所

TEL 0197-23-3531

FAX 0197-23-3593

岩手県南家畜衛生推進協議会

TEL 0197-24-5532

FAX 0197-23-6988

